

全国地球温暖化防止活動推進センター

平成16年度事業報告

1. 広報・普及啓発事業

パンフレット、ファクトシート等の作成

既存パンフレットを改訂・増刷するとともに、新たにファクトシートを作成して、それらを活動拠点で活用するとともに、各地域における普及啓発活動に提供した。

環のくらしフォーラム

専門家で構成する委員会で最新のエネルギー効率のよい家電製品等を選定するとともに、その結果を「ふたりの環のくらし」(夏号。冬号)としてまとめ、雑誌「ゼクシー」の挟み込み冊子として配布するとともに、おんだん館や都道府県センターを通じて配布した。

百万人の環キャンペーンの実施・キャンドルナイトとの連携

6月に「百万人の環キャンペーン」を実施するとともに、1,000,000人のキャンドルナイトを支援した。また、テレビコト「環のあかり」を作成し、雑誌「ソトコト」の挟み込みにより配布するとともに、おんだん館を通じて配布した。

ライフスタイル見直しフォーラム

11月3-4日にライフスタイル見直しフォーラム 2004「快く楽しいエコロジー」を開催した。入場者数は、のべ1200人であった。

地球温暖化防止月間行事の実施

12月の地球温暖化防止月間の事業として、以下の事業を実施した。

- 11月27日に京都国際会館において「京都議定書シンポジウム」を開催した(出席者約1000人)。
- 地球温暖化防止活動環境大臣表彰の選考を行い、38団体・個人を選考するとともに、京都議定書シンポジウムと連携して表彰式を実施した。
- 朝日小学生新聞において落第忍者乱太郎のマンガによる広報を実施した。
- 電力館、環境エネルギー館、パナソニックセンター、板橋エコポリス、おんだん館の5館で地球温暖化エコスタンプラリーを実施した。

全国センターホームページの充実

- 全国センターホームページを一部見直し、全国センターの活動がわかるように構成した。
- ストップおんだん館ホームページを立ち上げた。
- 都道府県センター向けホームページ(非公開)を立ち上げた。

環のくらしホームページの充実

環のくらしフォーラムと連動したエネルギー効率のよい家電製品等の情報提供等環のくらしのための各種情報の更新、充実を図った。

2. 環境学習支援事業

モデル的な事業の実施

地域において普及啓発活動の核となる都道府県地球温暖化防止活動推進センターや推進員、学校において教える立場にある人々に対し、地球温暖化に関する環境学習の効果的な研修手法を開発し、まとめ、配布した。

- パンフレット「青い地球の物語」を主な教材として、埼玉県が行う環境教育指導者実践講座、及びストップおんだん館で行なった「教える人向け講座」等で開発した手法を用いて演出し、実際の授業形式を実践した。
- 演出の成果、実際の授業、及びストップおんだん館の展示物・プログラム等の手法等について取材し、教材開発に生かすため「青い地球の物語 活動実践ハンドブック」としてまとめ、配布した。

3. 情報基盤整備事業

国内外の地球温暖化防止活動事例の収集及び提供

海外の先進的な地球温暖化対策の事例を収集し、日本国内での応用ができるように専門家からの意見を添えてまとめ、「海外活動事例集」として制作・配布した。

全国センターホームページの充実（再掲）

環のくらしホームページの充実（再掲）

4. 都道府県センター、推進員等の研修及び支援事業

都道府県センター職員等研修

- 知識研修【福岡研修】
16年8月30～31日に予定していた福岡での知識研修は台風のため中止した。
- 知識研修【東京研修】
16年9月27～28日に知識研修を東京で実施し、地球温暖化問題の科学的知見の最新情報や温暖化対策に関する基本的事項や具体的対策に関する講義を行った。
- 実践活動推進研修
16年10月27～29日、実践活動推進研修を開催し地球温暖化問題

を一般の方にもわかりやすく伝えるための手法を習得する講座やワークショップなどを行った。またストップおんだん館の学習プログラムを地域で実践するための実践研修を行った。

- 課題解決のためのワークショップ型研修

17年1月17～19日にワークショップ型研修を東京で実施した。ファシリテーターにはNPO法人ねおすの宮本氏を迎えて、都道府県センターの運営や事業を実施するにあたっての様々な課題を解決するためのワークショップを行った。

地域セミナー

- 交通に関する地域セミナー（愛知県）

17年1月30日～2月1日に交通に関する地域セミナーを名古屋で実施した。交通分野において地域の地球温暖化対策に必要な基礎知識を習得する講義のほか、具体的な各地事例報告などを元に今後の地域展開についてのグループワークを行った。

- 環境学習に関する地域セミナー（長崎県）

17年3月3～4日に環境学習に関する地域セミナーを長崎で実施した。地球温暖化対策と環境学習に関する基調講演のほか、九州地区における学校での環境学習に関する事例紹介をふまえて、学校との連携による環境学習の進め方についてグループワークを行った。

地球温暖化防止活動推進員研修の実施等

地球温暖化防止活動推進員研修を25センター及び10県で実施した。

都道府県センター便覧の作成

都道府県センターの16年度の活動概要がわかる便覧を作成した。

地球温暖化防止活動推進員等の交流会の開催

2月23～24日にプラザ・エフにおいて地球温暖化防止活動推進員等交流会を開催し（参加者は推進員、都道府県センター合わせて120名）、浅野直人氏による基調講演「地域の役割と推進員に期待すること」を行ったほか、相互の経験の交流、新たな手法・ツールの習得等3つの分科会を行い、経験交流を深めた。

5. NPO等との連携事業

地域協同実施排出抑制対策推進モデル事業

地域協同実施排出抑制対策推進モデル事業を公募により募集し、17団体を選定して委託により事業を実施するとともに、17年3月23、24日に評価報告会を実施した。

6 . 全国センター活動拠点の事業

ストップおんだん館の整備

全国的に地球温暖化問題に対する関心を高め、防止活動を推進するため、全国レベルでの市民によりわかりやすい地球温暖化に関する情報を広めていくことを目的にストップおんだん館を整備し、16年7月30日に開館した。

来館者数

開館から17年3月31日までの間(開館日数166日)に10,168人の来館者があった。来館された方々は、小中高生、親子、大学生、企業、団体、NPO、環境学習グループ、都道府県センター、推進員など幅広い層にわたっている。

予約プログラムの受け入れ

事前予約による「予約プログラム」として3月までに153件の受入を行った。総合学習、修学旅行、グループ学習などで、1グループは数名から40名程度である。一般のグループが61件で最も多く、中学生が42件でそれに次いでいる。

展示替えの実施

12月にテーマに展示替えを行い、「みんなの冬のお気に入り」及び「冬においしい、冬もおいしい」を新たに制作した。また、3月には、「昔からの知恵、これからの知恵」をテーマに展示替えを行い、「ライフスタイル研究所 - 学校編」、「CO₂タペストリー」、「かくかくしかじかおんだんか」を新たに制作した。

イベントの実施

子供向けイベントを夏休みに6回、春休みに4回開催した。大人向けイベントとして、教える人向け講座を6回、ワークショップイベントを3回開催した。

広報の実施

おんだん館の周知を図るため、展示替え・イベントちらしを2回作成し(5万部)、おんだん館パンフ等とともに学校等に配布した。また、環境教育学会、ライフスタイル見直しフォーラム、こどもエコクラブ全国フェスティバルに出展した。また、都内の関係5館によるエコスタンプラリー(12月)に参加した。

パネル等の貸し出し

おんだん館のパネルやツールの貸し出しを行い、17年3月31日までに45件の貸し出しを行った。